

1. 導入システム名称

システム名： 情報共有システムの災害対策

2. 導入先企業の概要

会社名： C社

所在地： 愛媛県

業 種： 製造業

3. システム導入の目的

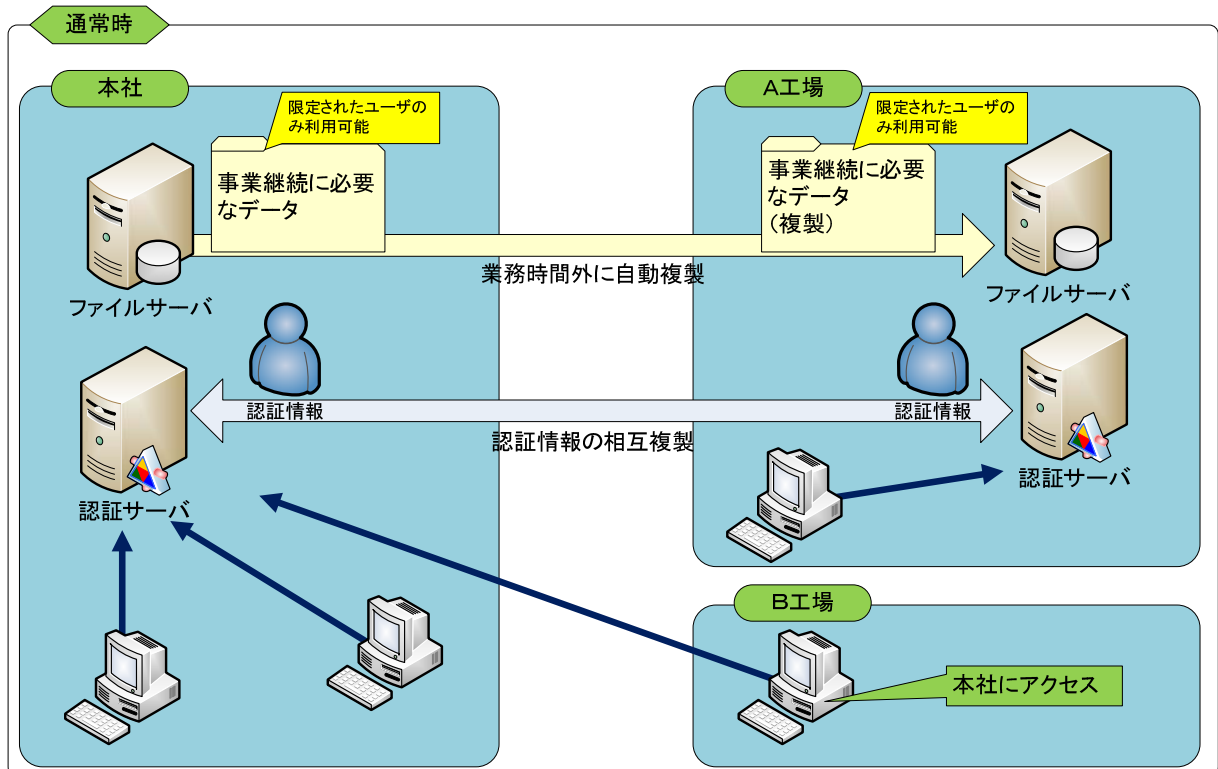
現在、重要業務に使用しているサーバ機器については、本社に設置し集中管理している。しかし、大規模災害等により本社が被災した場合、サーバ機器が利用不能となり業務継続ができなくなる恐れがある。そこで本社が被災した場合に、工場において業務継続可能な情報共有システムを構成する。

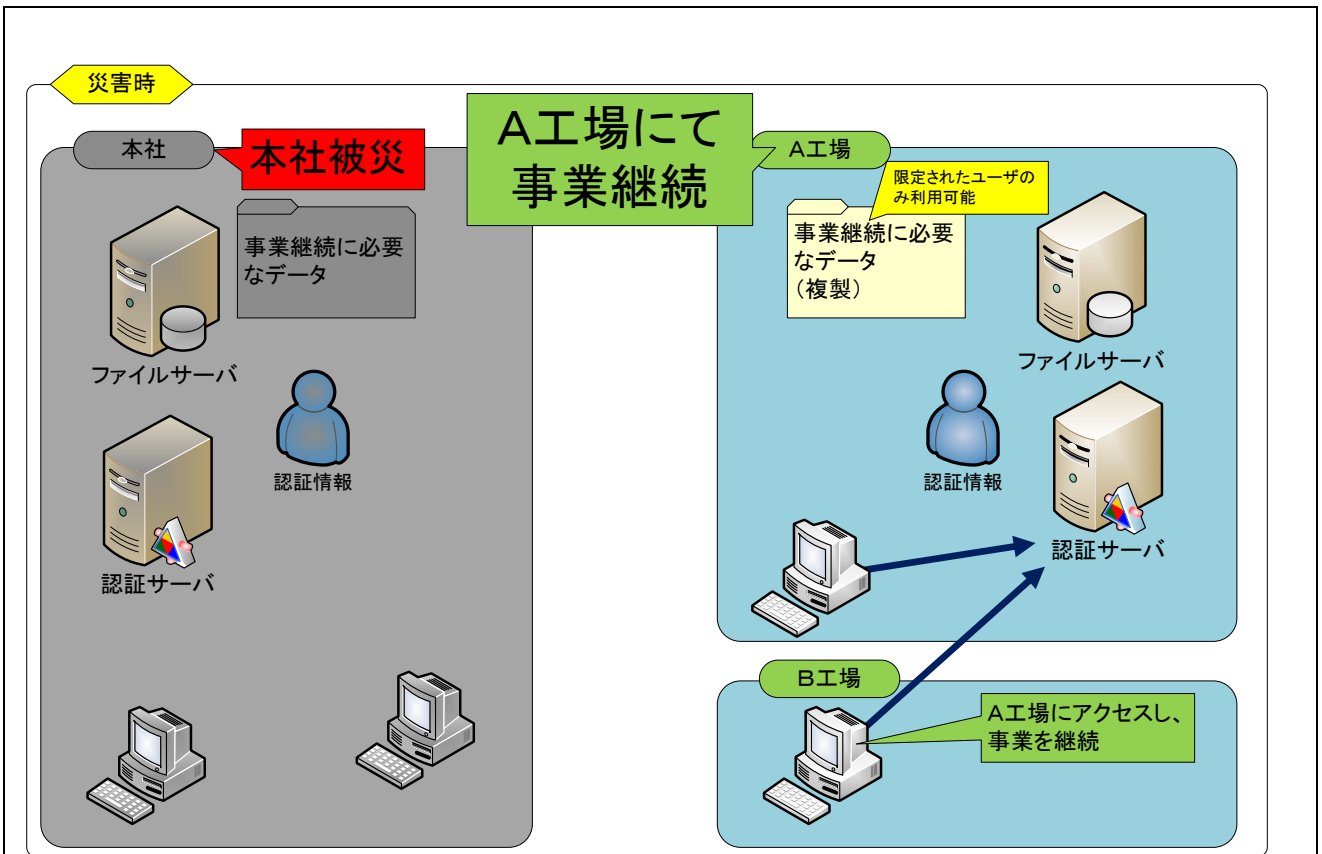
4. 導入システムの概要

【システムの特長】

- ①工場にバックアップシステムを設置
- ②事業継続に必要な重要データを工場のファイルサーバへ自動複製
- ③工場において本社同様の事業継続が可能
- ④重要事業の停止時間短縮

【システムの概要図】





5. システム導入効果

- ①本社が被災した場合、工場において重要事業を短時間で再開し業務継続が可能となった。
- ②A工場内にファイルサーバと認証サーバを設置することで、通常時でもユーザアクセスのレスポンス向上を図ることができた。

6. お客様の声

当社は、本社に認証サーバや重要データを集中管理していました。しかし、今世紀前半にも発生が危惧されている南海地震のような大規模災害に備えて、本社被災による重要業務を継続するためのシステム構成を検討する必要性がありました。

この課題に取り組むにあたり、以前よりお付き合いのあった、いよぎんコンピュータサービスに相談を持ち掛け「情報共有システムの災害対策」について提案していただきました。

このシステム構成に変更することで、工場に設置したサーバ機器を利用し事業継続が可能となりました。また、事業継続に必要な重要データは工場設置のファイルサーバへ自動複製することで、安全に保護できるようになりました。

いよぎんコンピュータサービスには、今後も良きアドバイザー、良きパートナーとして支援していただき、新たな課題解決に取り組んでいきたいと思っております。